



平成 29 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 ア ル テ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 張 能 徳 博
(コード番号 9972 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 (経 理 部 長) 池 谷 壽 繁
(TEL : 03 - 5542 - 6762)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2017 年度を初年度とし、2021 年度を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

本中期経営計画では、「お客様との絆を事業基盤とし、業界を究め、新領域に常にチャレンジし、価値創造企業集団としてお客様にご期待以上の満足をお届けすることで社会貢献する」グローバルニッチトップ企業として ALTECH ブランドの確立を目指してまいります。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社グループは、商社事業およびプリフォーム事業を車の両輪として安定した収益基盤の構築を目指し、事業の構造改革に取り組んでまいりました。その結果、ようやく市場環境の変化に耐えうる事業体制が整いつつあります。このような状況下、当社グループは、永続的に発展・存続し社会貢献できる企業となるべく次の 5 ヶ年に向けて中期経営計画を策定し新たなスタートを切ることいたしました。

2. 中期経営計画の基本方針

次の基本方針に基づき計画達成に向けて邁進してまいります。

- (1) 事業の付加価値の創出
 - ・戦略商権（商品）の発掘
 - ・取引先の満足度の向上
- (2) 固定費効率の向上
 - ・コスト構造改革の断行
 - ・海外拠点のスリム化
- (3) グローバル運営体制の構築
 - ・地域毎の統括体制の構築
 - ・組織、人事の強化

上記の方針に基づき、商社事業におきましては、機械販売の Machinery Importer からソリューション提供の Innovation Integrator への進化を図ってまいります。プリフォーム事業におきましては、経営の現地化に取り組んでまいります。本中期経営計画を支える施策として、優秀な人材を登用する仕組みや教育制度を導入してまいります。また、戦略や新規案件の取り組みを強化するため組織体制の見直しを実施してまいります。

3. 中期経営目標（連結）

（単位：百万円）

項目	2016 年度（実績）	2021 年度（目標）
売上高	13,775	19,000
営業利益	366	950
売上高営業利益率	2.6%	5.0%以上
株主資本利益率（ROE）	0.7%	5.0%以上

以 上

2016年11月期決算報告 および

中期経営計画説明

- Innovation Integratorへの進化 -

2017年1月26日
アルテック株式会社

- I. 会社概要、事業内容**
- II. 2016年11月期決算報告
2017年11月期業績予想**
- III. 中期経営計画**

I . 会社概要、事業内容

2016年11月30日現在

商号	アルテック株式会社（英文名：ALTECH CO.,LTD.）
設立	1976年5月15日
上場	東京証券取引所第1部（コード：9972）
所在地	東京都中央区入船2丁目1番1号
資本金	55億2,782万円
事業内容	包装・印刷関連等の特殊産業機械の専門商社 PETボトル用プリフォームおよびキャップの製造・販売事業
代表者	代表取締役社長 張能 徳博
従業員数	連結426名（単体133名）
関係会社数	連結子会社12社、持分法適用会社1社

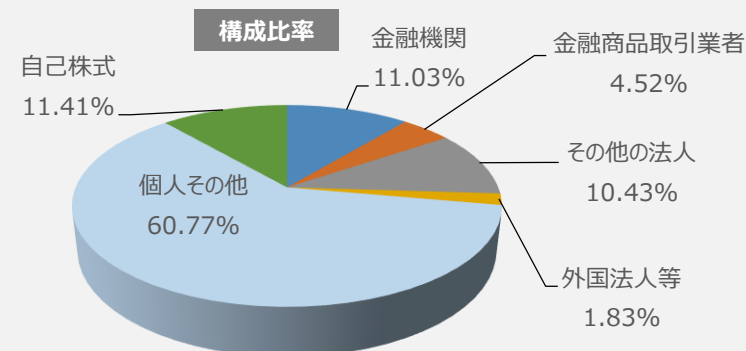
【発行済株式数：19,354,596株】

株主数：8,209名

株主構成

上位株主

自社（自己株口）	11.4%
竹内 正明	4.7%
三菱東京UFJ銀行	2.6%
関西チューブ	2.5%
由利 和久	2.3%



当社の事業 - 商社事業 -

商社事業

創業以来蓄積したノウハウと分析した市場データを融合しながら常に新しい分野に挑戦し、長期的なトータルソリューションを提供



当社の事業 - プリフォーム事業 -

プリフォーム事業

PETボトル用プリフォーム製造・販売

- ・ 飲料メーカー向け耐熱PETボトル用プリフォーム
- ・ 無菌充填PETボトル用プリフォーム
- ・ 食用油向けPETボトル用プリフォーム
- ・ 食用油向けPETボトル用キャップ



国内拠点

アルテック 新材料株式会社



住所：福井県坂井市丸岡町小黑第68号12番地
URL：<http://altech-fukui.co.jp/>

海外拠点



愛而泰可新材料（蘇州）有限公司



愛而泰可新材料（武漢）有限公司



愛而泰可新材料（広州）有限公司



重慶愛而泰可新材料有限公司

Ⅱ. 2016年11月期決算報告 2017年11月期業績予想

2016年11月期決算報告（連結PLサマリー）

連結PLサマリー

- ◆ 売上高：商社事業、プリフォーム事業の減収
- ◆ 営業利益：商社事業のコストコントロール徹底、プリフォーム事業のコスト構造改革実施
- ◆ 経常利益：円高による為替差損182百万円計上
- ◆ 当期純利益：主にプリフォーム事業における事業構造改善費用、事業撤退損等の特別損失135百万円計上（前期：プリフォーム事業において減損損失997百万円計上）

（単位：百万円）

	2015年11月期 実績 （前期）	2016年11月期 実績 （当期）	前期比
売上高	15,810	13,775	△12.9%
営業利益	168	366	118.0%
経常利益	△104	181	-
当期純利益	△998	64	-
EPS	△58.23円	3.79円	-

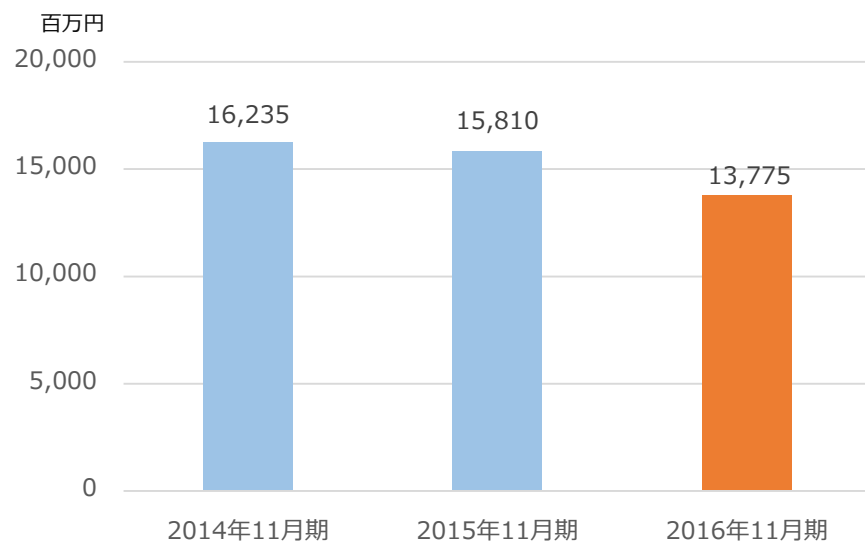
2016年11月期決算報告（連結業績推移）

連結業績推移（2014～2016）

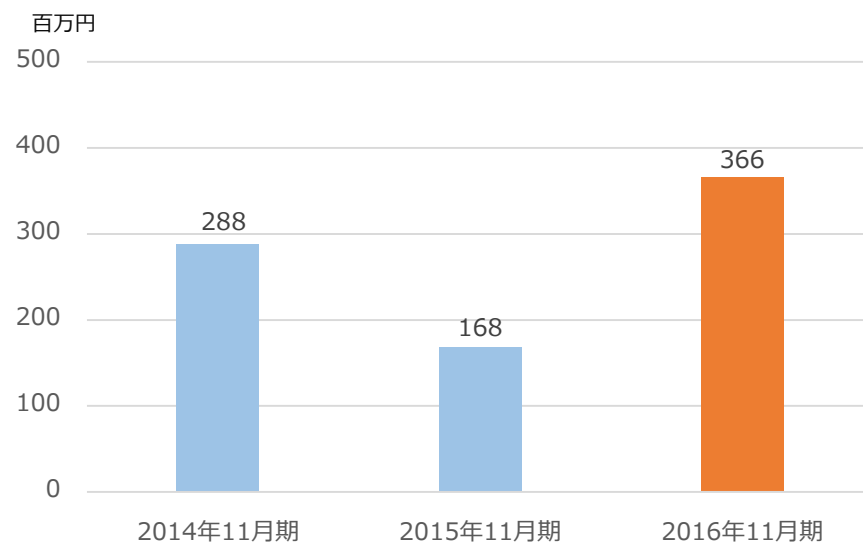
（単位：百万円）

	2014年11月期 実績	2015年11月期 実績	2016年11月期 実績
売上高	16,235	15,810	13,775
営業利益	288	168	366

売上高



営業利益



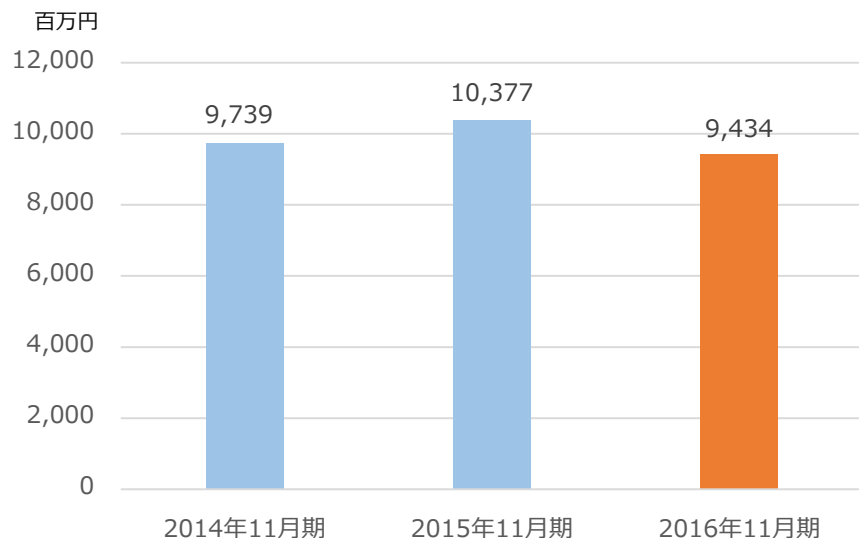
2016年11月期決算報告（商社事業の業績推移）

商社事業 実績（2014～2016）

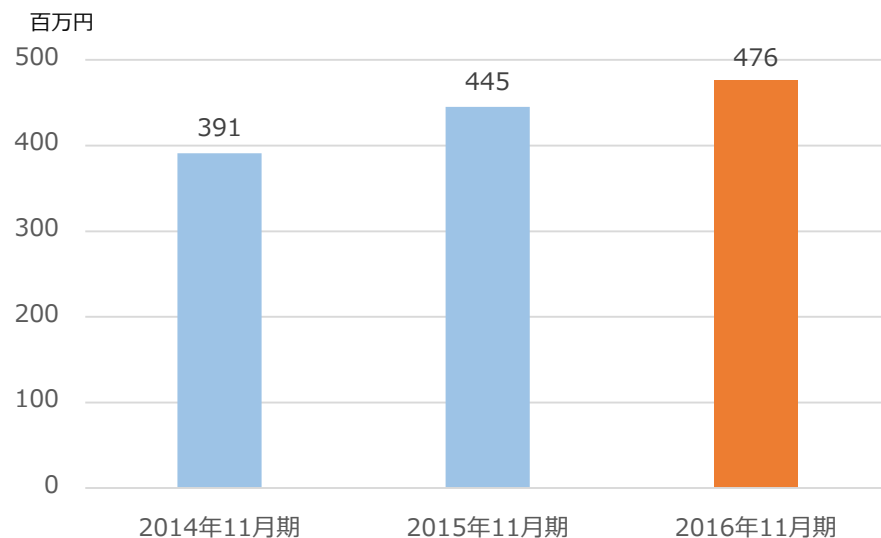
（単位：百万円）

	2014年11月期 実績	2015年11月期 実績	2016年11月期 実績
売上高	9,739	10,377	9,434
セグメント利益	391	445	476

売上高



セグメント利益



（注）セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

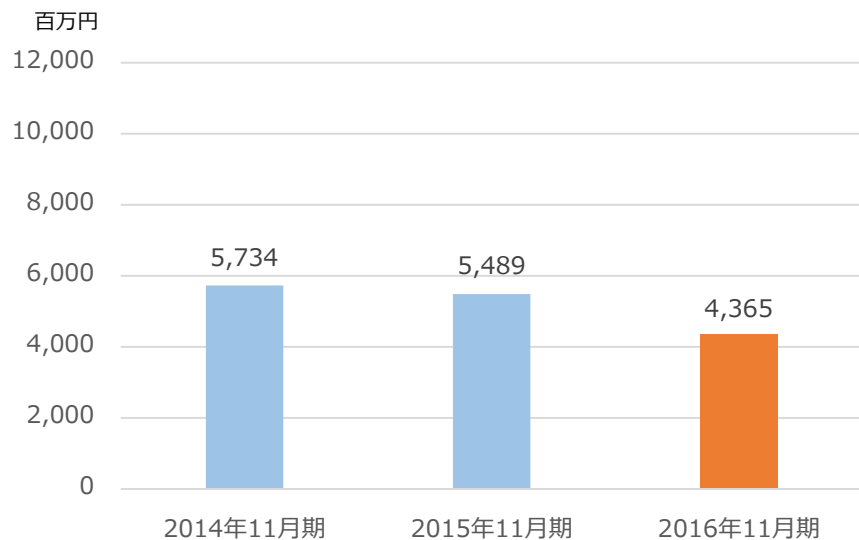
2016年11月期決算報告（プリフォーム事業の業績推移）

プリフォーム事業 実績（2014～2016）

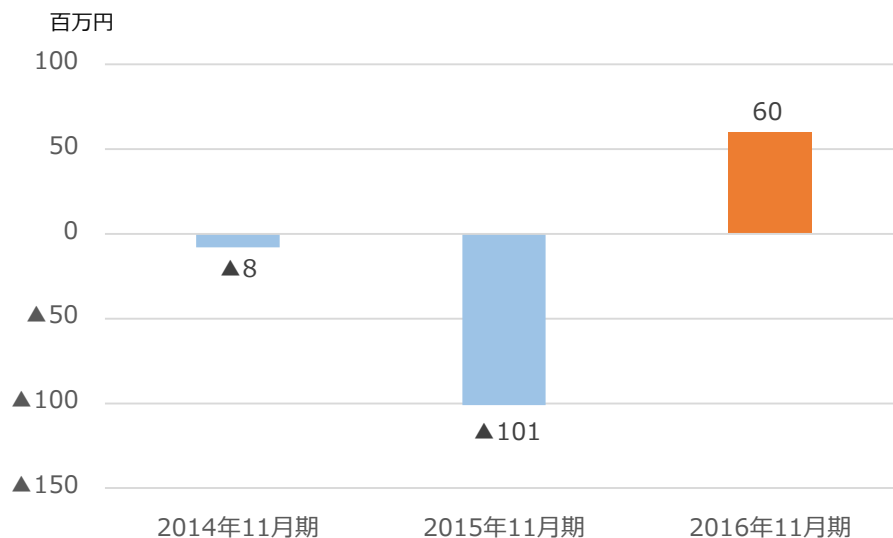
（単位：百万円）

	2014年11月期 実績	2015年11月期 実績	2016年11月期 実績
売上高	5,734	5,489	4,365
セグメント利益	▲8	▲101	60

売上高



セグメント利益



（注）セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

2016年11月期決算報告（自己資本等の推移）

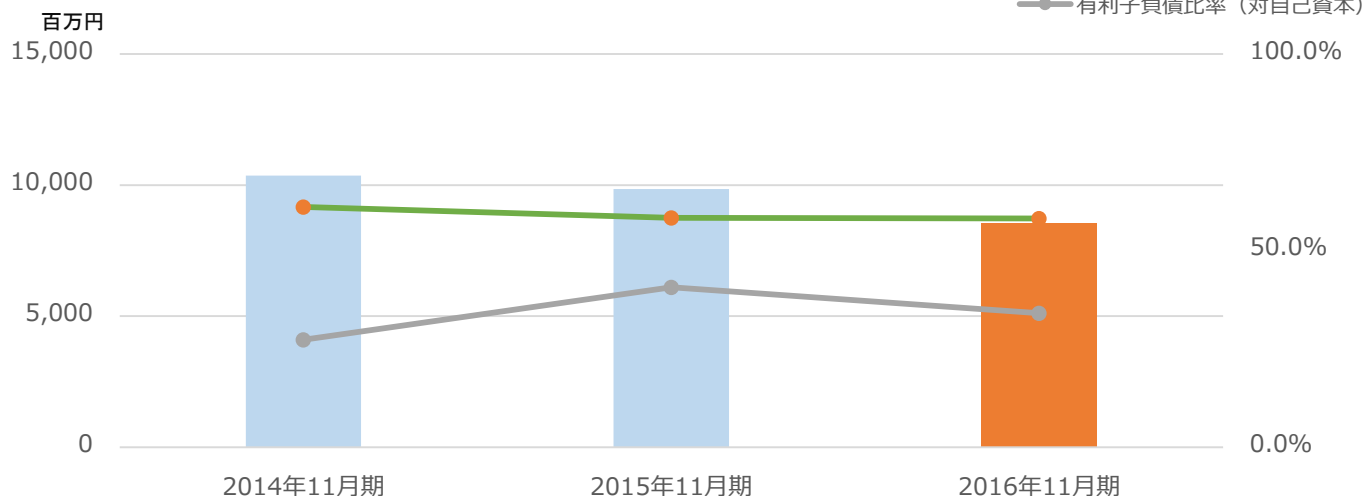
（単位：百万円）

	2014年11月期 実績	2015年11月期 実績	2016年11月期 実績
自己資本	10,359	9,850	8,544
自己資本比率	61.1%	58.3%	58.2%
有利子負債比率 （對自己資本）	27.3%	40.7%	34.1%

自己資本
比率

2016/11末
58.2%

自己資本等の推移



2017年11月期業績予想

連結業績予想

- ◆ 商社事業については、国内景気の緩やかな回復基調が続くことを前提に印刷機械関連、食品機械関連などの受注の回復を予想
- ◆ プリフォーム事業については、中国の経済成長減速等の影響により引き続き厳しい市場環境が継続することを前提に受注販売の減少を予想

(単位：百万円)

	2016年11月期 実績	2017年11月期 予想	前期比
売上高	13,775	15,000	8.9%
営業利益	366	320	△12.7%
経常利益	181	200	10.4%
当期純利益	64	100	53.9%
EPS	3.79円	5.83円	-

Ⅲ. 中期経営計画

お客様との絆（＝信頼関係）を事業基盤とし、業界を究め、新領域に常にチャレンジし、価値創造企業集団としてお客様にご期待以上の満足をお届けすることで社会貢献する

行動規範

【究】業界について幅広く、深い知見を構築するための行動指針

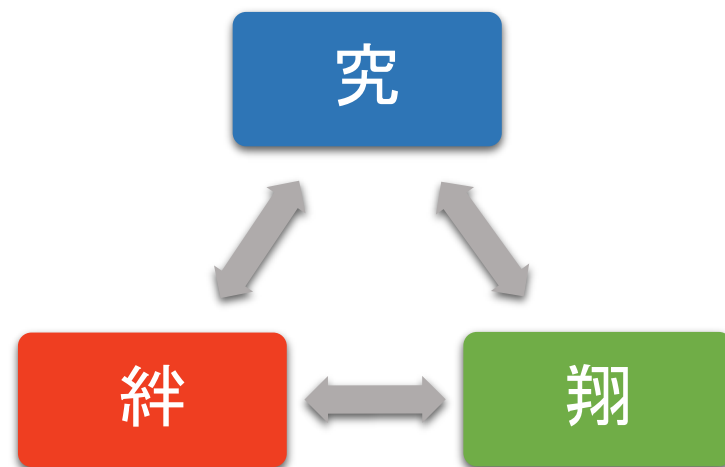
お客様やメーカーとのリレーションの構築と情報収集を徹底することで、業界の課題解決に向けた価値創造を提供する

【翔】新しい技術情報を見出し、顧客の課題解決にチャレンジするための行動指針

成長する機会を常に模索し、機会があれば果敢に挑戦する姿勢を持って自己とアルテックの成長に繋げる

【絆】お客様との絆を深めるための行動指針

お客様よりお客様のことを理解し、良き相談相手となり、相談には期待以上のスピードで高いレベルのソリューションを提供する



1 事業の付加価値の創出

- ・ 戦略商権（商品）の発掘
- ・ 取引先の満足度の向上
- ・ 技術部門との連携強化

2 固定費効率の向上

- ・ コスト構造改革の断行
- ・ 海外拠点のスリム化

3 グローバル運営体制の構築

- ・ 地域毎の統括体制の構築
- ・ 組織・人材の強化

従来の機械販売
Machinery Importer

から

機械販売＋付加価値
(ソリューション提供)
Innovation Integrator

への進化

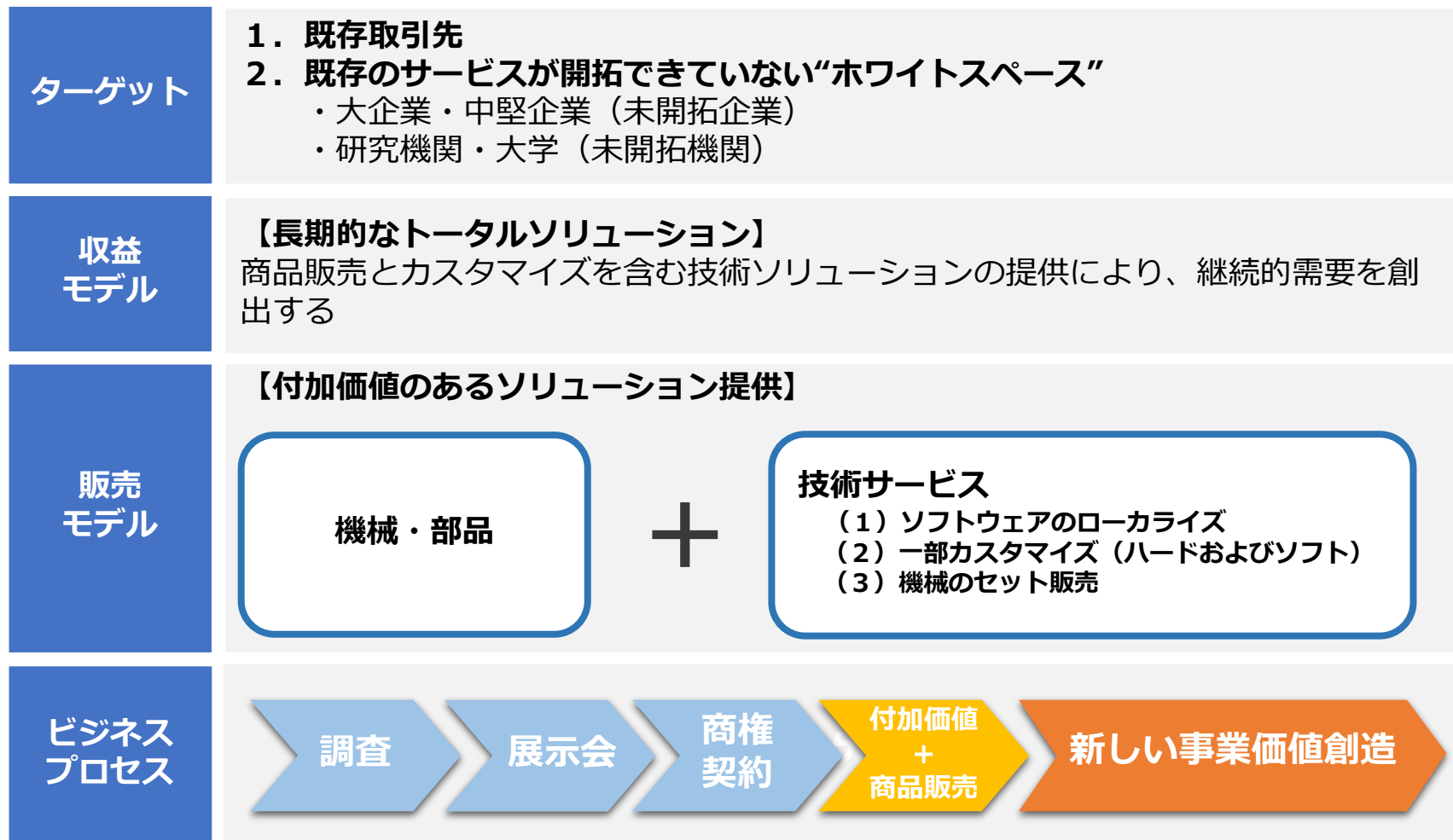
1 既存/新規商権の成長戦略

- ・ 継続的需要の創出を目標とする既存商権の拡販
- ・ 既存サービス間の周辺ホワイトスペースの攻略
- ・ サービスロボット、IoT等の新規商権の開拓
- ・ 新興国市場への開拓を加速

2 さらに成長に向けた基盤構築

- ・ 構造改革の継続
- ・ 次世代マネジメントの育成
- ・ 中計推進に向けた組織体系の強化
 - マーケティング部門の新設
 - エンジニアリング部門の統合

ビジネスモデル



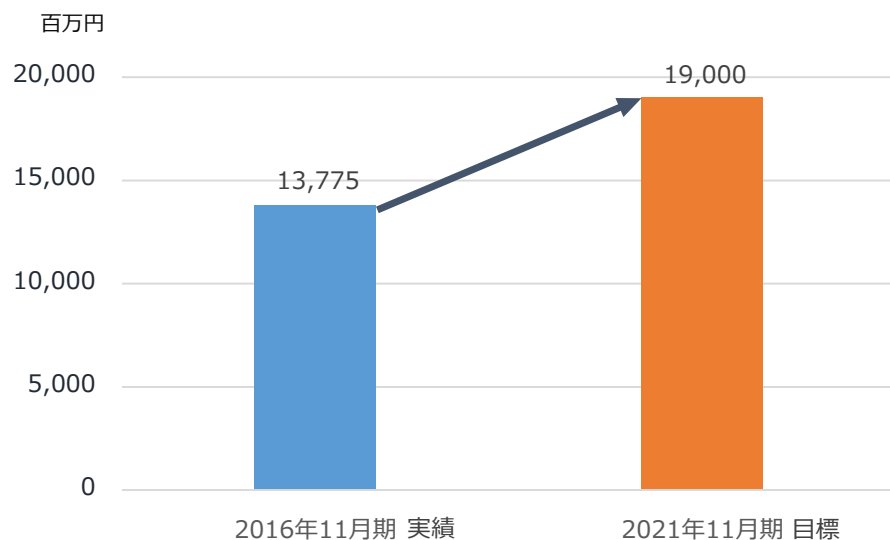
中期経営計画2021 連結目標

連結目標

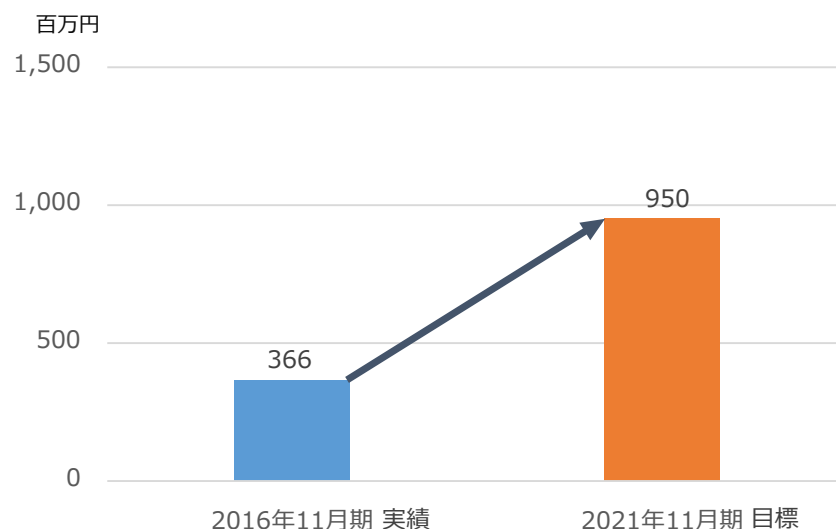
(単位：百万円)

	2016年11月期 実績	2021年11月期 目標
売上高	13,775	19,000
営業利益	366	950

売上高



営業利益



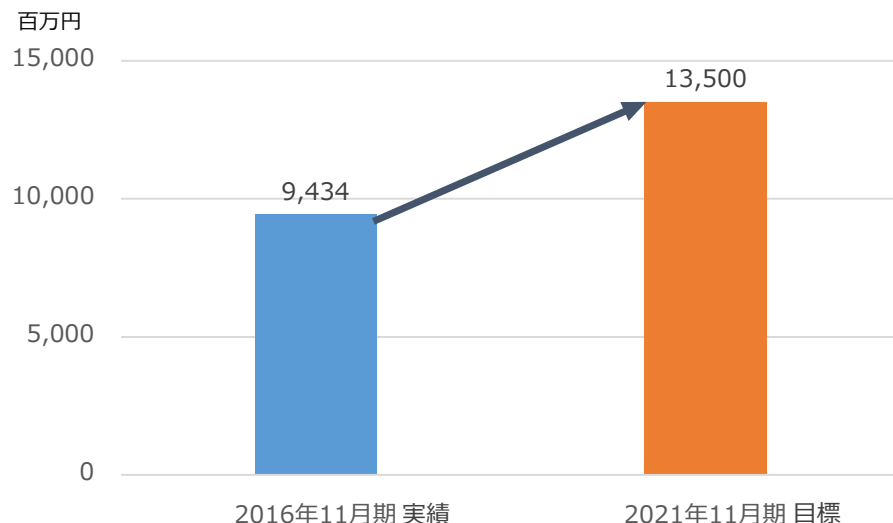
中期経営計画2021 目標(商社事業)

商社事業目標

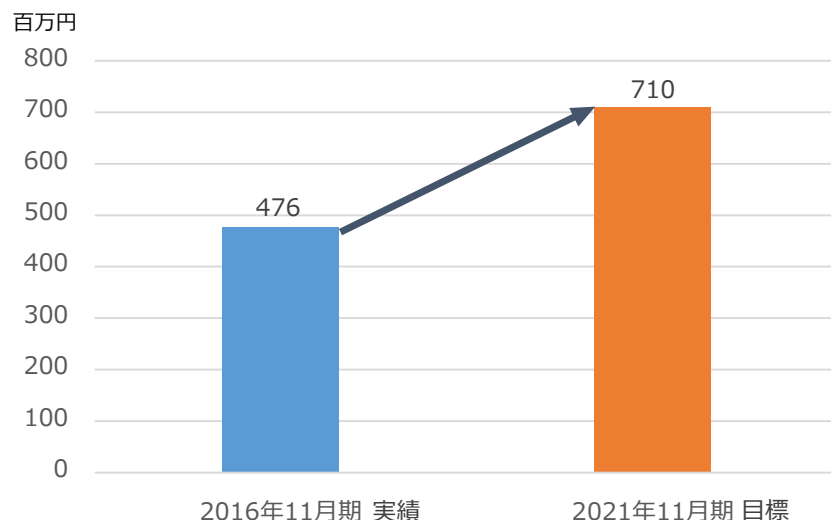
(単位：百万円)

	2016年11月期 実績	2021年11月期 目標
売上高	9,434	13,500
セグメント利益	476	710

売上高



セグメント利益



(注) セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

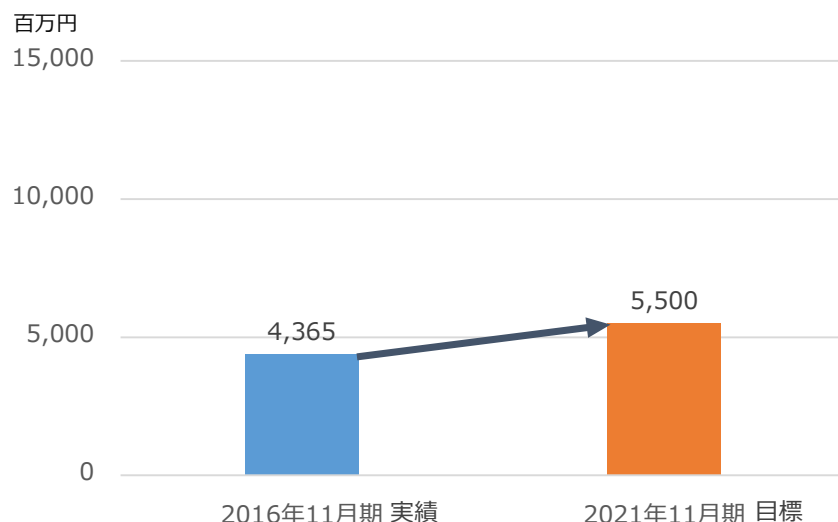
中期経営計画2021 目標(プリフォーム事業)

プリフォーム事業目標

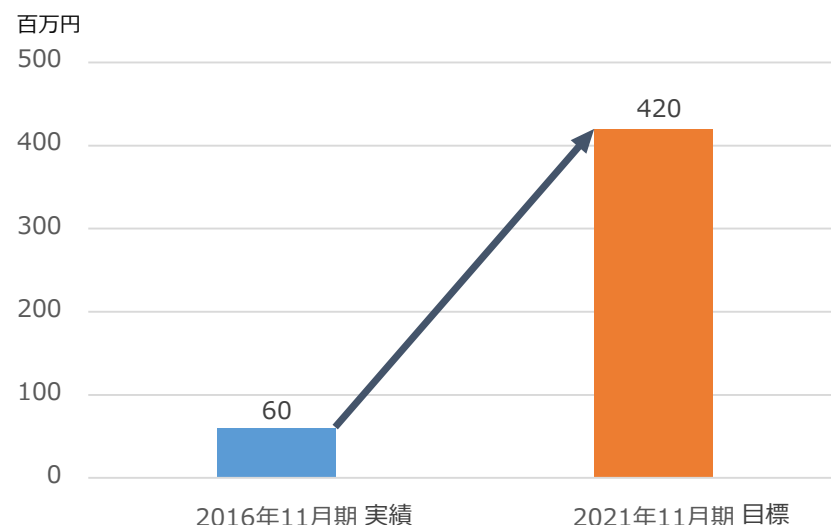
(単位：百万円)

	2016年11月期 実績	2021年11月期 目標
売上高	4,365	5,500
セグメント利益	60	420

売上高



セグメント利益

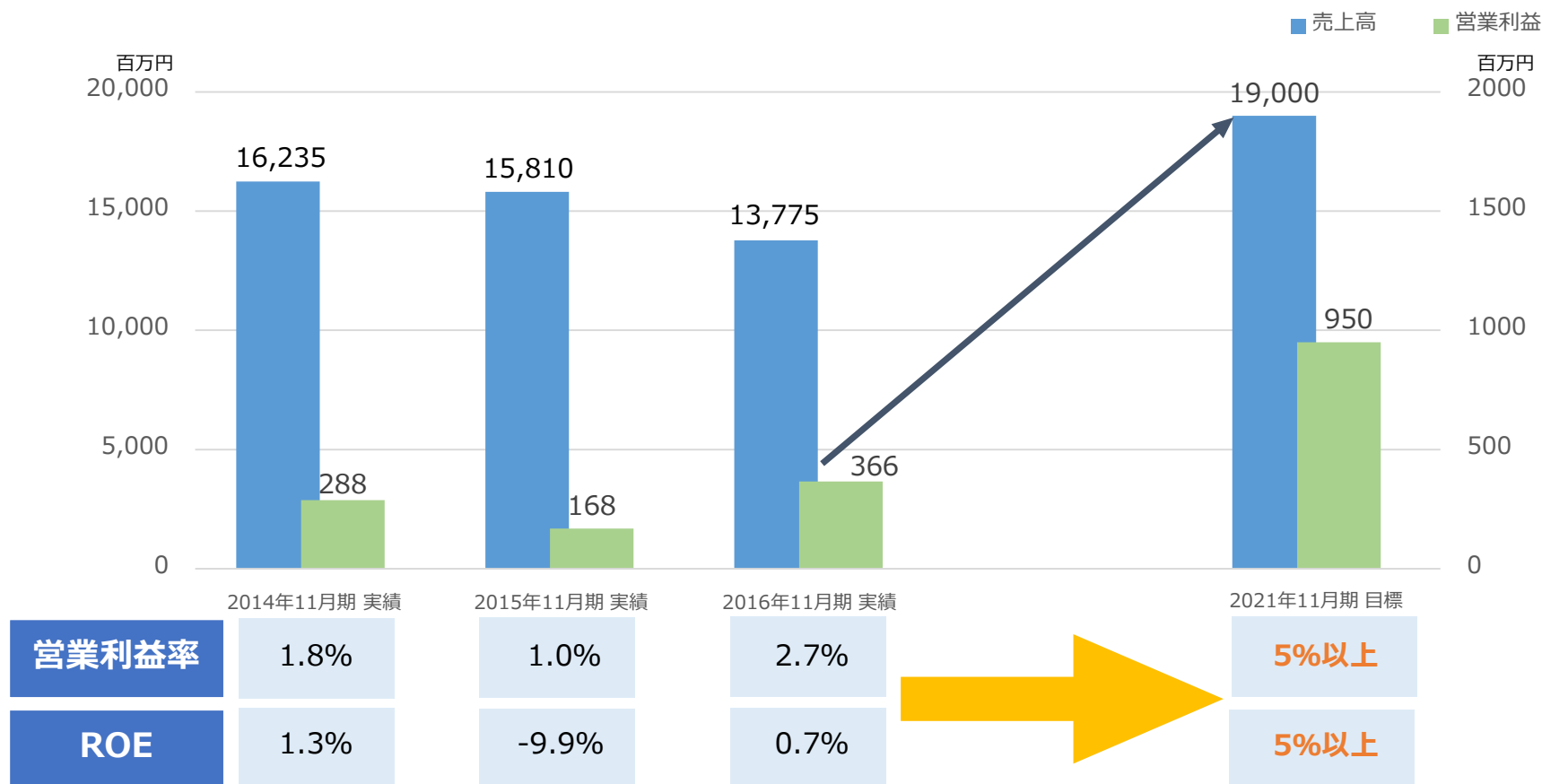


(注) セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

経営数値目標

経営数値目標

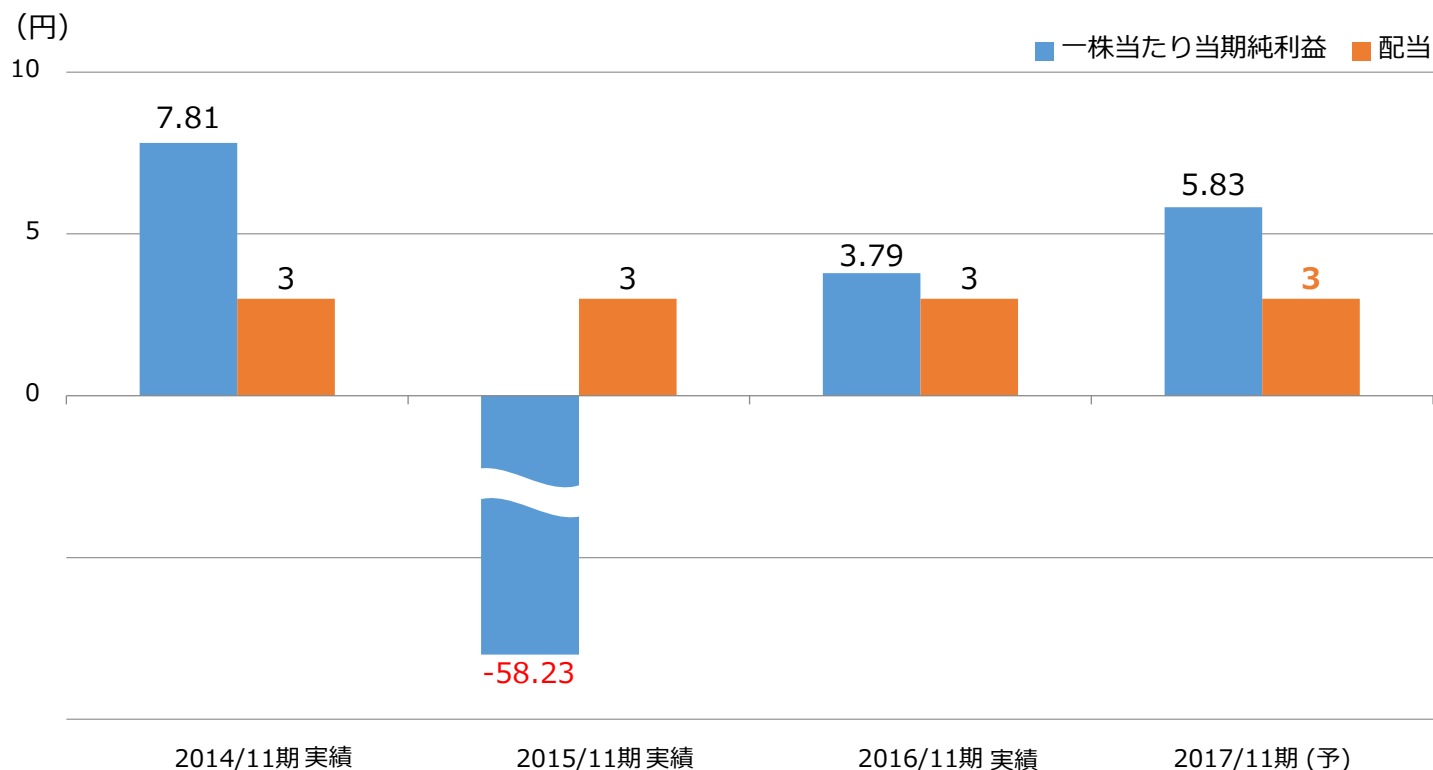
営業利益率5%以上、R O E 5%以上を実現する



株主還元の基本方針

株主の皆様への継続的な利益還元を最優先とする一方で、企業基盤の安定を図るために内部留保を充実させる

年間配当実績と2017年11月期配当予想



(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づき、当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれております。これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。
- これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。